

湛水処理によるクワイ赤枯症の防除

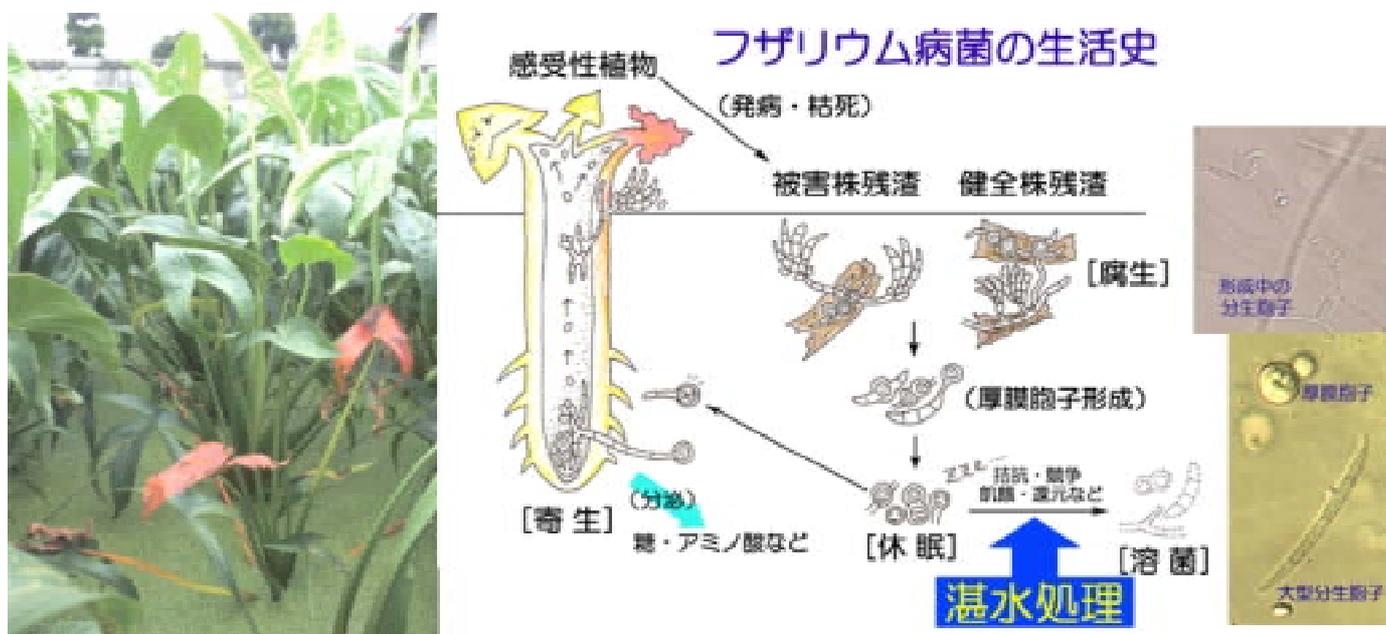
福山市のクワイは全国一の生産量を誇る広島県の重要な地域特産物です。近年、連作圃場でフザリウム菌による赤枯症の発生が問題となっています。そこで、環境にやさしい防除技術である定植前の湛水処理による、赤枯症の抑制効果を明らかにしました。

クワイ赤枯症とは

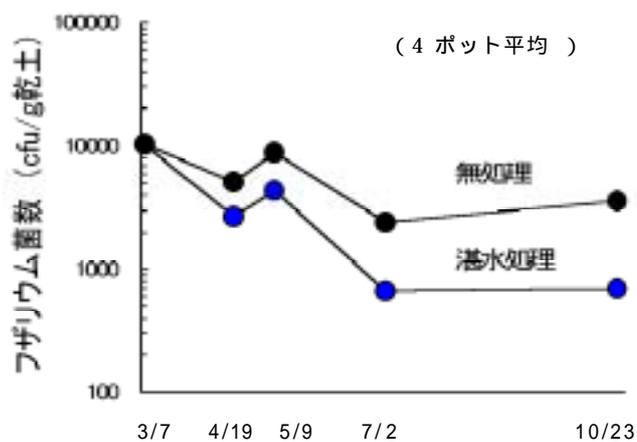
フザリウム菌が根から侵入し導管をつまらせます。このため、地上部に水分や養分が運ばれず、葉が黄色～深紅色に変色し枯死します。また、根・クラウン・塊茎などの地下部は褐変・腐敗します。

防除対策

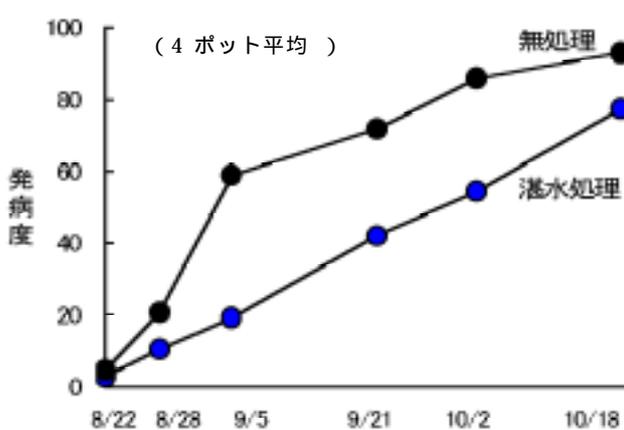
フザリウム菌は耐久体(厚膜孢子)で土中に長期間残ります。クワイ定植前の湛水処理はフザリウム菌の密度を下げ、赤枯症の発病を抑制することがわかりました。



土中菌密度の抑制効果



赤枯症発病の抑制効果



-----湛-----水----- ****クワイ栽培****